

平成21年度

保健福祉部業務研究等報告会

児童相談所の一時保護所における 学習指導の実践と課題



宮城県中央児童相談所

主幹 佐藤 剛

主査 佐藤 康一

はじめに

1 背景・ねらい

○一時保護所

○児童の実態

2 事業内容

○一時保護所における学習指導

3 事業の効果と課題

一時保護所とは

○保護者からの虐待や自らの非行等で
家庭や地域での生活が難しい児童を
一時的に保護している。



児童の実態

①自尊心の欠如

自分を大切に思わない どうでもいい・・・

②自己肯定感が低い

自信をもてない 何事にもなげやり・・・

③多くの児童に学習の遅れ

現学年の学習内容がわからない・・・

④不登校

学習が分からない・対人関係・・・

⑤発達障害

知的障害・ADHD・学習障害・自閉症・・・

一時保護所における学習指導

児童に身に付けさせたいこと

わかる喜び

達成感

学習習慣の
定着

生活意欲

退所後の生活への
スムーズな移行

学習指導の実際

- ①学習進度調査・学習状況の把握
- ②1日あたり2コマの学習時間
- ③集団活動の設定
- ④毎朝15分間の読書時間の確保

◎ 小・中学校での教職経験のある職員が
学習指導を計画し、全職員で指導する。

実際の指導内容

入所時の学習進度調査

○現在の学年までの学習内容をどの程度理解しているか

1日あたり2コマの学習時間

小学生 → 国語・算数

中学生 → 国語・数学・英語



実際の指導内容

集団活動の設定

友達と遊べない子、集団に入りにくい子、独りよがりな子が活動の楽しさを味わい、他者との関係を築けるようにする



ぬり絵



ペーパー
クラフト

実際の指導内容

毎朝15分間の読書時間の確保



読書習慣の形成

市立図書館の利用

児童に本を集中して読む力を身に付けさせ、
継続して読むことを経験させる

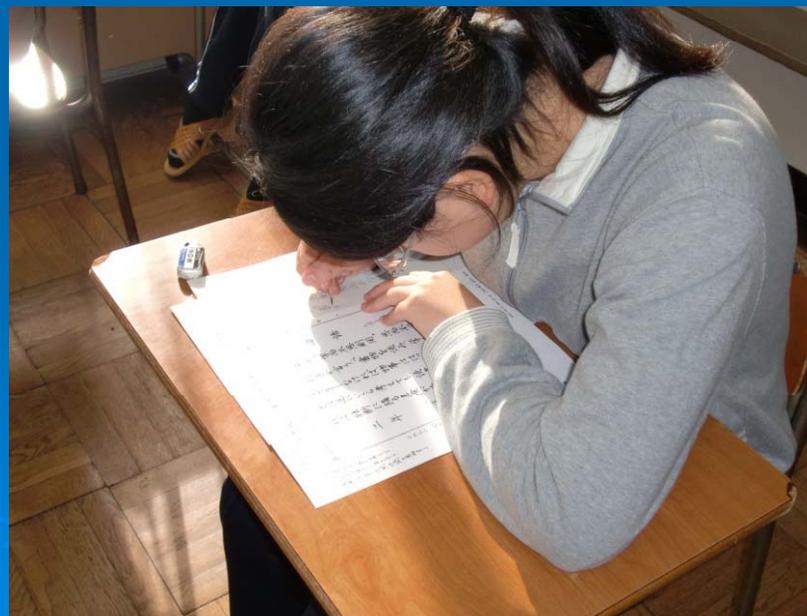
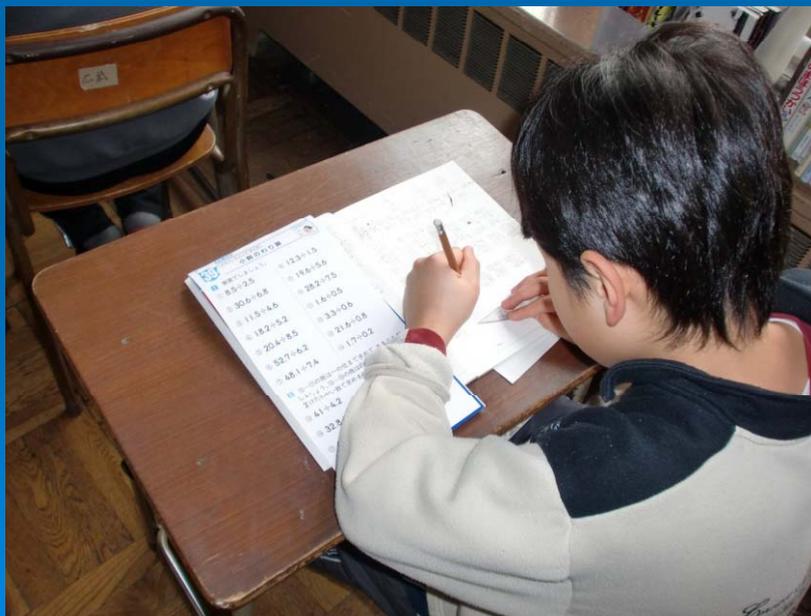
学習指導の効果

学習進捗状況 → 学習進捗票の作成

○学習の遅れ

→虐待や非行が始まったときからのつまずき

○つまずいたところからの学習



学習指導の効果

読書の習慣化 ～朝の学習～

- 自分で読みたい本を選び、継続して読む
- 図書館から借りてきた本を読み切る



学習指導の効果

自主学習に取り組む児童 夕方の自由時間



生活意欲の高まり



学習意欲の向上

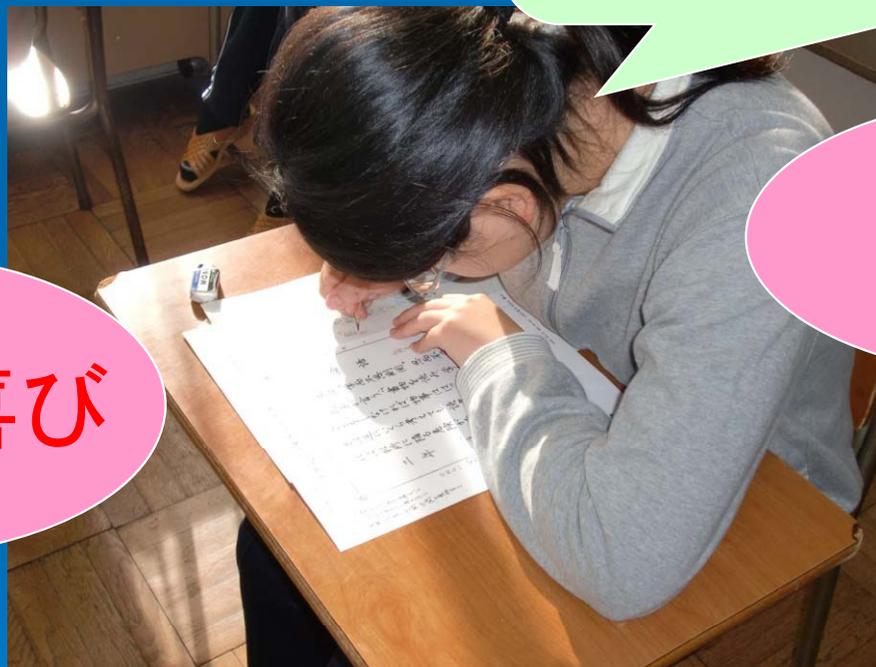
学習指導の効果

一時保護所における
学習指導

自立への意欲
↑
学習意欲の向上

わかる喜び

達成感



児童の実態

学習指導上の課題

○児童の在籍校との連携強化

勉強が分からない

座ってられない



学校が嫌い

不登校

家庭内暴力

一時保護所での援助における気づきを生かす

学習指導上の課題

○特別な配慮を必要とする児童への支援

年長児の作業活動



<これまでの取り組み>

保育室・特別支援室の整備と多目的な使用

<今後の課題>

発達障害の把握とカリキュラムの充実

平成21年度

保健福祉部業務研究等報告会

児童相談所の一時保護所における
学習指導の実践と課題



宮城県中央児童相談所

主幹 佐藤 剛
主査 佐藤 康一